

# プロフィール

## ちひろ氏 (歌手/作曲家/ラジオパーソナリティ)



山口県出身。1997年より作曲家、2003年より歌手として活動を始め、童謡詩人金子みすゞの詩に曲をつけた歌を中心に、全国・海外でコンサートや講演を行っている。

人権、男女共同参画、教育研修講演会、福祉大会等のトークコンサートでの依頼も多く、「人としての原点を見つめ、忘れていたものを思い起こさせてくれる“感動のステージ”」と定評がある。歌声のみならず、実話や体験談を語る温かな声色は、幅広い世代の心を掴む。

ラジオパーソナリティを務めたFM山口制作の特別番組「こだまでしょうか〜今、金子みすゞの心を聴きたい〜」が第7回日本放送文化大賞ラジオ部門準グランプリ受賞(2011年)。広島東洋カープ公式戦国歌斉唱(2016年)。

## 金子みすゞ (童謡詩人)

金子みすゞ(本名テル)は、1903年山口県に生まれる。20歳の頃から童謡を書き始め、『童話』の選者だった西條八十に「若き童謡詩人の中の巨星」と賞賛され、めざましい活躍をみせていった。23歳で結婚したが、夫から詩作を禁じられ、病気、離婚と悲しみが続く。前夫から最愛の娘を奪われないために26歳という若さで自死の道を選び、彼女の残した作品は散逸し、いつしか幻の童謡詩人として語り継がれるばかりとなった。

それから50余年、みすゞの作品は児童文学者の矢崎節夫氏の熱意により、再び世に送り出され、現代に生きる私達に大切なメッセージを伝え続けている。

参考「金子みすゞ記念館ホームページ」

## マザー・テレサ (修道女)

マザー・テレサは、1910年現在のマケドニアに生まれる。インド・コルカタで教員をする中、同地のより貧しい人々とともに働くことに専念するようになる。「神の愛の宣教者会」を設立し、長年、貧しい人々のために働き、その活動は全世界に及び、後継者たちを育てた。1979年ノーベル平和賞受賞。

参考「宗教法人カトリック中央協議会ホームページ」

### こだまでしょうか

金子みすゞ



「遊ぼう」っていうと  
「遊ぼう」っていう。

「馬鹿」っていうと  
「馬鹿」っていう。

「もう遊ばない」っていうと  
「遊ばない」っていう。

そうして、あとで  
さみしくなって、  
「ごめんね」っていうと  
「ごめんね」っていう。

こだまでしょうか、  
いいえ誰でも。

(出典『金子みすゞ童謡全集』JULA出版局)

## 会場案内図 [三島ホール]

